

・事業の目的

市民のコミュニケーションの場、若者世代を中心とした雇用の場、多くの産業が入り乱れ経済活動が活発な場、観光客が地元にお金を落とす場、等々、弘前市の中心歓楽街「鍛冶町」の地域経済における貢献度は計り知れないものがある。その機能が失われ、衰退した場合、経済的にも雰囲気的にも街全体の活力が失せていくことがイメージされることから、中心歓楽街として機能の維持・発展と魅力の向上を図りながら活性化をする事により、元気な街のシンボルとして、かつ地域経済発展の牽引役として位置づける。また、人口減少問題対策として、いわゆる出会いの場としての機能と役割を付加させる。

・事業内容

東北ブロック YEG 事業大賞グランプリを受賞したこの事業は、平成 19 年から現在に至るまでさまざまな形式で中心歓楽街の活性化に取り組んでいる。

1. 鍛冶町ほこ天 FOOO!!

平成 19 年 10 月～11 月 全 9 回

・かじまちほこ天市 ・みんなでフォークダンス ・路上ダンスパフォーマンス

2. 鍛冶町ほこ天ストリート

平成 20 年 6 月～8 月 全 13 回

・みんなでフォークダンス ・路上ダンスパフォーマンス ・ミス鍛冶町コンテストなど

3. 弘前市中心繁華街接客サービス向上セミナー 筆談ホステス 斎藤里恵 講演会「愛のある言葉」

平成 21 年 11 月 21 日

・各店舗の経営者・従業員の資質向上を図り、充実したサービスを提供することを目的に開催。

4. 鍛冶町防犯協会への後方支援事業「鍛冶町スタンプラリー」

・ペア韓国旅行など、総額 40 万円以上の景品で鍛冶町飲食店の活性化を図った

5. 観光客にお勧めしたい飲食店 PR 事業「ひろさき食楽マップ」

・700 名の市民アンケートによる情報を提供し観光客へのサービスの充実を図った。

6. ひろさき合コンリーグ

平成 24 年～平成 27 年 全 15 回

- ・3 人 1 組での合コン※合コンの黄金比率！
- ・1 時間に「1 組 3 名」1 回の開催で「3 店舗にて 3 組 9 名」としっかり会話できる
- ・お店も相手もダブらない組合せ※リピーターも大満足！
- ・飲食店の閑散期に開催！！⇒新規顧客獲得の好機

・事業に対する工夫と期待される効果

集客の容易な週末ではなく、あえて平日にイベントを開催するなど、目的にこだわった。効果として、個店は自分を優先する考え方であったが、全体で協調性を持って取り組めるようになった。また、歓楽街としての要素の衰退が進んでいた商店街は一連のイベントを通じ、市民に身近なイメージが広がり、一時期離れた若い世代や、女性客が増え始めた。そして、ひろさき合コンリーグでは、自己申告分のみですでに 6 組の夫婦が誕生している。